

第二回 奥出雲町肉用子牛共進会開催

十月九日、下横田の横田畜産センターにおいて、今年度第二回の奥出雲町肉用子牛共進会が開催されました。

町内九地区から選ばれた四十一頭の肉用子牛が出品され、審査員によって個体審査、比較審査が行われました。

会場には町内の畜産関係者など大勢の人が訪れ、審査の様子を見守っていました。

審査結果は次のとおりです。



▲首席に輝いた「はなみずき3」号

【成績表】

成績(序列)	名号	出品者	地区
特選賞(首席)	はなみずき3	吉川喜代治	横田
特選賞(二席)	かつぎくら	佐藤 治己	亀嵩
特選賞(三席)	第4つな	福田 保夫	横田
特選賞(四席)	ひよかつたか	佐藤 治己	亀嵩
特選賞(五席)	ゆりひめ3	藤原トミ子	横田
団体優勝	亀 嵩 支 部		

児童が森林保全を体験学習

こども版オロチの深山きこりプロジェクト

十一月四日、八川小学校の五、六年生の児童十四人が「こども版オロチの深山きこりプロジェクト」を体験しました。

このプロジェクトは、地元林業研究グループと森林組合等で構成された同プロジェクト実行委員会が、林業体験を通して森林保全の大切さと資源循環の営みを知って

もらおうと、町内の小中学生を対象に毎年行っています。

児童は、はじめに森林の役割や

歴史などについて学習した後、鬼の舌震付近の山林へ移動。根元に切り込みを入れた立木にロープをかけ、みんなで力をあわせて倒したり、のこぎりを使って木を駒切りにしたり慣れない作業に汗を流しました。

続いて、亀嵩の木材流通センターを見学し、丸太があつという間に小さなチップになる様子に驚きの歓声を上げていました。

同プロジェクトの響繁則委員長



▲のこぎりで枝を切り落とす児童たち

は「この体験を通じて、将来、多くの方に森林保全に携わってほしい」と話しました。

安全で安心なまちづくりのため

推進協議会が研修会を開催

十月十日、「奥出雲町犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会」の研修会が、カルチャープラザ仁多で開催されました。

この協議会は、地域活動団体や事業者、学校、行政等で組織。相互に連携して防犯意識の高揚と自主的な活動を推進し、安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを目的としています。

研修会では、大田市の自主防犯ボランティア団体による講演や二つのテーマによる分科会が行われ、参加者は防犯ボランティア活動の課題や連携などについて積極的意見交換を行いました。

その後、町内二カ所まで鍵かけ運動のチラシなどを配り、防犯対策の重要性を町民に呼びかけました。



▲チラシ配布で防犯を呼びかけ

足立瑠美子さん 松崎安次さん

民生委員児童委員に就任

民生委員児童委員として長年ご尽力いただいた浅沼美代子さん（竹崎）、渡邊保夫さん（横田）の退任に伴い、足立瑠美子さん（白向側・山根側自治会担当）、松崎安次さん（大市（殿町・重国）自治会担当）が就任されました。

任期は平成二十八年十一月三十日までです。よろしくお願いいたします。

奥出雲町では、六十五人の民生委員児童委員がそれぞれの担当地域で、生活に関する相談、子どもや高齢者の見守り活動などを行い、社会福祉の増進に努めています。



松崎安次さん



足立瑠美子さん

固定資産評価審査委員の再任について

固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服の申し出を審査する「固定資産評価審査委員会」の委員の任期満了により、十一月一日付けで次の三名の方が再任されました。

- ・委員長 伊藤 敏朗（亀嵩）
- ・委員長職務代理者

- ・委員 佐藤 由昭（下横田）
- ・委員 永沼 茂實（小馬木）

任期は平成二十九年十月三十一日までです。よろしくお願いいたします。



▲左から
伊藤さん、永沼さん、勝田町長、佐藤さん

奥出雲の秋を満喫

奥出雲サイクリング2014

秋の恒例イベント「奥出雲サイクリング」が十月二十六日、さくらおろち湖自転車競技施設を主会場として開催されました。

当日は雲一つない爽やかな天候で、絶好のサイクリング日和。奥出雲の自然、風景、食文化が一度に楽しめるとあって、県内外からサイクリング愛好者や家族連れなど約四百三十人が参加して盛大に行われました。

参加者は、上阿井の可部屋集成館を折り返し地点とするエクストリームラン（四十七キロ）、阿井川ダムを経由するチャレンジラン（約二十五キロ）、尾原ダムサイクリングコースを周回するファミ



▲スタートの様子



▲食事を楽しみながら疲れを癒す参加者